

シンポジウム「学芸員の逆襲-ミュージアムの過去・現在・未来-」

プログラム

- 10:15～10:30 あいさつ：小佐野重利（美術史学会代表委員）
- 10:30～11:00 基調報告 学芸員たちのいま
後小路雅弘（美術館博物館委員・九州大学）
- 11:00～11:30 一般客の目線とは？美術館集客増との関わりから探る、学芸員側からのアプローチ
内藤正人（出光美術館）
- 11:30～12:00 伝えるための工夫―「みる・しる・しらべる コレクション 雪舟筆『牧牛図』」
前田淳子（山口県立美術館）
- 12:00～13:15 休憩
- 13:15～13:45 美術館における特殊資料の整理と公開について（仮題）
川口雅子（国立西洋美術館）
- 13:45～14:15 学芸員の日常活動は「研究」か？
山梨俊夫（神奈川県立近代美術館）
- 14:15～14:45 美術館と小屋 地域が学芸員に求めているもの
立木祥一郎（青森県弘前地域技術研究所、元・青森県立美術館整備室）
- 14:45～15:00 休憩
- 15:00～16:00 総合討議 司会：鈴木廣之（美術館博物館委員・東京学芸大学）

【お問い合わせ】

美術史学会本部事務局・東支部事務局
〒110-8714 台東区上野公園 12-8 東京芸術大学 美術学部 芸術学科内
TEL/FAX 03-5685-1511

パネリストのプロフィール

後小路 雅弘（うしろしょうじ・まさひろ）九州大学大学院人文科学研究院教授

1954年北九州市生まれ。九州大学文学部卒。福岡市美術館準備室から同館学芸員を経て、福岡アジア美術館学芸課長として、アジアの近現代美術をテーマにした新たな美術館作りを手がけた。2002年から現職。美術史学会美術館博物館委員。

内藤 正人（ないとう・まさと）出光美術館主任学芸員

1963年愛知県名古屋市出身。慶應義塾大学大学院修士課程修了。博士（美学）。1988年より出光美術館学芸員となり、2007年3月まで19年勤務。4月から慶應義塾大学准教授。専門は江戸時代の絵画で、ことに浮世絵と江戸の琳派を中心に研究しているが、美術館ではこのほかにも近代の日本画、20世紀アメリカ抽象絵画を担当した。

前田 淳子（まえだ・じゅんこ）山口県立美術館主任学芸員

広島大学社会科学部研究科修了。北九州市立美術館学芸員を経て2001年より現職。多くの人が展覧会や作品に関心を持つには、もっと作家や作品について知りたいと思わせるには、満足して美術館を出てもらうにはどうすればよいのか？それは我々が調査研究してきたものをどのように見せるか、という問題です。同僚たちと取り組んできた山口県立美術館の試みを報告します。

川口 雅子（かわぐち・まさこ）国立西洋美術館学芸課情報資料室研究員

東京藝術大学大学院博士後期課程単位取得退学。在学中にマールブルク大学美術史研究所留学、画像アーカイブの活動調査。2001-03年、財団法人ポーラ美術振興財団ポーラ美術館学芸部でレジストラーとして勤務。2003年より現職。研究資料センターにて、収蔵作品・作家に関わる情報を管理するデー

データベース・システムを構築中。

山梨 俊夫（やまなし・としお）神奈川県立近代美術館館長

東京大学文学部美学芸術学科卒業。1976年から神奈川県立近代美術館に勤務して、数多くの展覧会を担当。2004年より現職。主な著書に『絵画の身振り』『風の絵』『現代絵画入門』『描かれた歴史』など。

立木 祥一郎（たちき・しょういちろう）青森県弘前地域技術研究所主任研究員、NPO harappa 理事

1962年東京生まれ。東北大学文学部卒業。川崎市市民ミュージアム映像部門学芸員を経て、青森県立美術館開設準備に携わる。美術館建設基本計画、建築設計を担当。また奈良美智、小野忠弘、工藤哲巳、寺山修司などのコレクションを手がける。2002年、弘前でボランティアを組織し奈良美智展 I DON'T MIND, IF YOU FORGET ME. を企画。以降、2005年 From the Depth of My Drawer、2006年 YOSHITOMO NARA +graf A to Z、奈良との展覧会を実現する。

鈴木 廣之（すずき・ひろゆき）東京学芸大学教育学部教授

1952年東京生まれ。東京大学大学院修了。専門は日本美術史。東京文化財研究所を経て、2005年より現職。著書『好古家たちの19世紀-幕末明治における《物》のアルケオロジー』（吉川弘文館、2003）など。学芸員の経験はありませんが、文化財研究所では仕事柄、学芸員の方々といっしょに仕事をすることが多く、昨今の動向には危機感をもっています。学芸員応援団を組織したい。